

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

別添様式2

公表日: 令和3年1月 日

事業所名: 心の森

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	・活動内容により活動スペースを分けたり、車椅子移動の妨げにならない家具の配置をしたりしている	はい:16名、どちらともいえない:5名、いいえ:0名、わからない:0名 (ご意見) ・活動目的に合わせた部屋があり、園庭も工夫されていると思います ・子どもの身体のサイズ的にも大きくなってきたため、また利用人数が多いと手狭だと思う ・こども園と併設されていることもあり、色々な体験ができています ・利用児の人数が多い時はやや狭く感じます	・複数の活動を興味や関心に応じて選択できるようにし、活動によりスペースを区切ったり、活動場所を変えたりし、活動を十分に行えるようにする
	2 職員の適切な配置	・配置基準職員に加え、月単位にて保育士の配置をプラス1名以上行っている	はい:17名、どちらともいえない:1名、いいえ:0名、わからない:3名 (ご意見) ・利用回数が少ないので分かりませんが、子どもの様子を見る限りでは充分であると思います ・デイサービスの場へ自ら訪れる機会もなく、分からない部分があります	・職員の適切な配置の継続及び活動内容、子どもの状況により安全に活動ができる配置を行う
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	・バリアフリー化(段差の排除、エレベーターの設置、リフト車輛による送迎体制等)を実施	はい:17名、どちらともいえない:3名、いいえ:0名、わからない:1名 (ご意見) ・1回利用しただけで設備の位置等を覚えていたので、子どもにとって分かりやすいようになっていいると感じます ・デイサービスの場へ自ら訪れる機会もなく、分からない部分があります	・共有で使える座位保持椅子の設置やプライバシーに配慮したオムツ交換等のスペースの見直しを行う ・利用している子どもの状況により定期的に環境の見直しを行う

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	・次亜塩素酸空間除菌脱臭機の設置 ・活動に応じて机上活動、座っての活動、寝転べるスペースの確保等を行っている	はい:18名、どちらともいえない:1名、いえ:0名、わからない:2名 (ご意見) ・利用者本人がとても気に入っており、いつもきれいで、ゆっくり過ごせることをよく話してくれています	・清潔で心地よく過ごせる生活空間確保の継続 ・活動に応じて存分に活動に取り組める空間の確保、落ち着いて過ごせるスペースの確保、子どもの動きや特性に配慮した上で安全に過ごせる空間の確保を検討していく
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	・事業計画策定・実施・評価・見直しを職員参画により行っている		・特定職員のみでなく、チーム全体としてPDCAサイクルへ参画する機会を作る
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	・外部からの視察における評価の活用、法人内の他事業所における内部評価の活用により業務改善を行っている		・外部評価、内部評価、保護者・子どもの声を拾い、業務改善に努める
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	・外部研修への参加 ・外部講師を招いての法人内での研修実施 ・新任職員研修、非常勤職員研修、フィードバック研修、園内研修等の実施 ・研修計画を個別に作成し、計画的にOJT、OFF-JT、SDSを実施		・各種研修参加の機会の確保 ・研修参加後に事業所内で研修内容の伝達の機会を設け、研修に参加をしていない職員にも伝えたり、事業所として取り組んでいくことの周知に努める
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	・子ども、保護者の方との日頃のコミュニケーションを重視し、ニーズの把握に努める	はい:19名、どちらともいえない:2名、いえ:0名、わからない:0名 (ご意見) ・いつも丁寧にヒアリングした上で計画していただきます ・親の意見を聞いてくださり、計画を作成していただけるので、ニーズも課題もしっかり分析されていると感じます	・アセスメントを日々行い、課題分析を実施する
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	・子どものその時々興味・関心を中心に計画を作成している		・子どもの姿を明確に捉え、興味・関心や強みを活かした計画を作成する

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供 (続き)	3	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	・子どもの姿、興味・関心、ニーズ、強みから支援内容の設定をしている	はい:20名、どちらともいえない:1名、いいえ:0名、わからない:0名 ・子どもの現状に合わせ、無理をしすぎないように考えた内容設定だと感じています	・スモールステップによる目標達成のイメージがしっかりと感じられるような具体的な支援内容を記載する
	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	・子どもの興味・関心、強みを活かした個別支援計画の策定と個別支援計画の支援者間での周知に努めることで、計画に沿った支援を実施できるようにしている	はい:19名、どちらともいえない:1名、いいえ:0名、わからない:1名	・個別支援計画の内容を全職員で周知し、計画に沿った具体的な支援がどの職員でも行えるよう努める
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	・特定の支援者により活動プログラムを立案しており、チーム全体での立案が不十分である		・ケース会議、職員会議の機会を増やし、子どもの姿の把握や興味・関心、強みを活かした活動プログラムの立案をチーム全体で行う
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	・学校、家庭との連携をとり、子どもの状況の把握に努める ・課題や宿題等の習慣化 ・長期休暇時には様々な体験ができるような活動プログラムの立案		・平日には限られた時間の中で支援の優先順位を意識して活動に取り入れる ・長期休暇等には様々な体験ができるようなプログラムを計画する等、きめ細かに計画を立てて支援を実施する
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	・子どものその時々々の興味・関心に応じて環境、活動を提供している	はい:12名、どちらともいえない:6名、いいえ:0名、わからない:3名	・その時々々の子どもの興味・関心を個別に把握し、それに応じた活動内容、活動が深まる環境設定を行う
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	・職員間での申し送りの実施 ・子どもの状況を把握する		・職員間での申し送りの継続 ・連絡帳システム、登園時の保護者の方からの伝達等にて子どもの状況をしっかりと把握、職員間で共有することを徹底する
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	・子どもの状況について申し送りをし、情報を共有する		・子どもの状況、支援の振り返りを職員間で行い、記録として残し、以降の支援に活かせるようにする

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供(続き)	10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	・業務日誌、支援日誌の記録 ・チーム全体での記録作成、支援の検証・改善の継続実施が不十分		・全職員で記録作成に携われるよう職員間で記録の取り方の検討、周知を行う ・支援の検証・改善の機会を職員全体で持てるよう計画的に会議を行う
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	・半年ごとにモニタリング及び個別支援計画の見直しを実施している		・日々の記録からモニタリングの実施、個別支援計画の見直しへと繋げる
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	・児童発達支援管理責任者が主となり、サービス担当者会議へ参加している		・サービス担当者会議への参画と、会議後に職員全体で共有、支援への反映ができる体制を確立する
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	・該当なし		・今後必要に応じて実施
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	・該当なし		・今後必要に応じて実施
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	・必要に応じて情報提供を行っている		・保護者の方に許可を得て、移行先へ情報提供し、スムーズに移行できるよう支援する
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	・現時点で該当ケースなし		・今後該当ケースが発生した場合、保護者の方に許可を得て、移行先へ情報提供し、スムーズに移行できるように支援する
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	・連携が不十分		・研修の情報を職員に提供する

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
関係機関との連携	7 児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	・こども園の園児との交流をしたり、法人内の児童館への行事参加をしたりする中で、障害のない子どもと活動する機会の提供を行っている	はい:12名、どちらともいえない:3名、いえ:1名、わからない:5名	・併設している認定こども園との日常的な交流の機会の提供や児童館との交流等を計画的に行い、障害のない子どもと活動する機会を作っていく
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	・現在地域との交流があまり行えていない		・事業所として地域の環境を知ったり、職員が積極的に地域と繋がりを持つ機会を作る ・地域の店舗へ買い物や地域の方への挨拶や日常的な関わりを計画的に行う
保護者への説明責任・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	・重要事項説明書を用いて説明を実施している	はい:18名、どちらともいえない:2名、いえ:0名、わからない:1名 (ご意見) ・どの職員もとても丁寧です	・契約時のみでなく、報酬改定時や支援内容に変更があった際などには文書を用いて説明を行う ・支援内容について、個別にお迎えの際に口頭で伝えたり、連絡帳に記載したり、ドキュメンテーションの作成をし、見える化する
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	・個別支援計画の目標の設定理由、内容の説明を実施している	はい:19名、どちらともいえない:0名、いえ:0名、わからない:2名	・分かりやすい言葉での個別支援計画書の作成 ・個別支援計画を示しながら、目標の設定理由、具体的な内容を丁寧に説明する時間を個別に調整する
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	・現在ペアレント・トレーニング等の支援が計画的に実施できていない	はい:8名、どちらともいえない:4名、いえ:4名、わからない:5名	・保護者の方のペアレント・トレーニング等のニーズの把握に努める ・保護者向けの研修等の案内を行う ・ニーズに応じた内容を検討する

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
保護者への説明責任・連携支援	4 子どもの発達状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	・利用時の様子を伝えたり、家庭での様子をお聞きしたりする中で、子どもの状況や課題について共通理解ができるよう努めている	はい:17名、どちらともいえない:4名、いいえ:0名、わからない:0名 (ご意見) ・こちらが気付かないことも提案くださり、発達を促す対応をしていただき、とてもありがたいです	・子どもの発達状況や課題について利用時の様子から見える化する ・家庭での様子をお聞きしたり、利用時の様子を伝えたりする中で、現状の把握や「こういうところを伸ばしていこう」という共通理解ができているか、都度保護者の方と確認する
保護者への説明責任・連携支援	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	・子育ての悩み等に対して話を聞いたり、アドバイスをしたりは行っているが、こちらからの積極的な発信ができていない	はい:8名、どちらともいえない:7名、いいえ:2名、わからない:4名 (ご意見) ・保護者との面談はなく、ネット上でその日の様子などを連絡するだけです	・個別支援計画説明時等の面談の機会等を利用し、子育ての悩み等の定期的にお聞きできる時間を作る
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	・保育参加等の機会に保護者同士の関わりの機会が作れるようにしているが、定期的な開催等が行えていない	はい:2名、どちらともいえない:4名、いいえ:10名、わからない:5名	・児童発達支援における保育参加や保護者参加型行事の開催の継続により、保護者同士の関わりの機会を作る ・放課後等デイサービスにおける保護者参加型行事の検討、計画を行う
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	・苦情に対する対応体制、対応の手順等を明文化している	はい:16名、どちらともいえない:0名、いいえ:0名、わからない:5名	・苦情に対する対応体制、対応手順等を整えていることを改めて周知する機会を作る ・苦情があった場合は、迅速に対応手順に沿って対応する ・保護者の方に同意を得て、全利用者に内容と対応について公表する
	8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	・利用時の様子や普段と違うこと、気になること等はこまめに伝達するようにしている	はい:21名、どちらともいえない:0名、いいえ:0名、わからない:0名	・個別に意思の疎通方法を検討する ・利用時の様子や普段と違うこと、気になること等をもれなく保護者の方に伝達するようにする

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
保護者への説明責任・連携支援	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	・毎月のお便り配布、毎回の連絡事項配信等を行っている	はい:19名、どちらともいえない:1名、いえ:0名、わからない:1名	・毎月のお便り配布、ドキュメンテーションの掲示、連絡事項配信等により発信する
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	・契約時に個人情報の取扱いについて文書での説明を行い、同意を得ている	はい:19名、どちらともいえない:0名、いえ:0名、わからない:2名	・個人情報の取扱い方針に沿って対応する・配布物の確認は担当職員を決めて行い、入れ違い等がないようにする
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	・緊急時対応、防犯、感染症マニュアル等、各種対応マニュアルを策定しているが、保護者の方への周知は行っていない	はい:18名、どちらともいえない:1名、いえ:0名、わからない:2名	・各種マニュアルの定期的な見直しとマニュアルに沿った対応の徹底 ・機会を設けて保護者の方への見える化を行う
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	・年間計画の立案、それに沿った訓練を毎月実施している	はい:10名、どちらともいえない:0名、いえ:0名、わからない:10名	・計画的に訓練の実施し、振り返りを行い、非常災害時に備える
	3	虐待を防止するための職員研修の機会確保等の適切な対応	・年1回以上全職員に向けて虐待防止、人権擁護の研修を行っている		・年1回以上全職員に向けて虐待防止、人権擁護の研修を行う ・日頃の業務内でも人権擁護を意識した対応ができているか職員間で確認する ・職員採用時に、虐待防止、人権擁護研修を行う
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	・該当はないが、マニュアルの策定を行っている		・マニュアルの定期的な見直しの実施 ・マニュアルに沿って適切な対応ができるようにする

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
非常時等の対応	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	・食物アレルギーのある子どもに対しては、医師の指示書の提出を求め、それに基づいて食事提供を行っている		<ul style="list-style-type: none"> ・食物アレルギーのある子どもに対しては、医師の指示書に基づき食事提供をする ・マニュアルに沿って安全に食事を提供できる環境を確保する
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	・ヒヤリハット事例及び検討、集計等を行い、事業所内で共有している		<ul style="list-style-type: none"> ・積極的なヒヤリハット報告の実施 ・事例検討会議の実施、事業所内で共有する仕組み作り